

平成 21 年度 みんなで支える森林づくり大北地域会議（第 2 回）議事録

1、開催日時 平成 21 年 10 月 6 日（火） 13:30 ~ 14:00

2、開催場所 小谷村内の現地及び小谷村役場 201 号会議室

3、出席者

- ・委員
嶺村和徳、浅見昌敏、川上起源、香山由人、傳刀明、郷津喜久代、
山内香代子、荒山雅行、菅沢広人、平林きわ子
- ・北安曇地方事務所
小須田地方事務所長、中村林務課長、ほか 6 名
- ・報道関係
なし
- ・一般傍聴
なし

4、内容

（ 1 ）現地検討

- 1) 森林整備事業地（小谷村白馬乗鞍里山整備事業地）
- 2) 木育推進事業地（中土観光交流センター建設現場）

（ 2 ）室内検討会議

1) 開会

鷹野課長補佐進行

2) あいさつ

小須田地方事務所長

・ただ今、ご紹介いただきました北安曇地方事務所長の小須田幸一でございます。よろしく申し上げます。

本日は、第 2 回目の「みんなで支える森林づくり大北地域会議」にお集まりいただきまして、ありがとうございます。

先ほど、本年度の「森林税活用事業」の進行状況ということで、小谷村の里山整備の団地と木育推進事業の中土観光交流センター建設現場におきまして、熱心な議論をいただきありがとうございました。

引き続き、室内での検討ということで、お疲れのところと思いますがよろしく申し上げます。

ご承知のように、昨年度から「長野県森林づくり県民税」を導入させていただき、様々な「森林税活用事業」を進めさせていただいております。これまで手が入らず荒廃が進ん

でいる里山が整備されるなど、実際に目に見える形で成果が出てきているところです。

本年度の取組みでございますが、「みんなで支える里山整備事業」「森林づくり推進支援金事業」「木育推進事業」の各事業を計画に沿って実施しているところでございます。

本日の会議では、これらの「森林税活用事業」の現地検討や事業の進行状況の報告を踏まえた形で、委員の皆さまから、様々な角度からご意見を頂き、今後の森林税活用事業に反映させたいと思いますので、忌憚のないご意見を頂ければ幸いに思います。

以上、簡単ではございますが、当地域会議に先立ちましてのご挨拶とさせていただきます。本日は、よろしくお願いたします。

3) 議事

ア、小谷村の森林整備について (大里主任より説明)

イ、森林税活用事業について

間伐事業の進捗状況 (三善普及林産係長より説明)

里山集約化・支援金の執行状況 (鈴木主査より説明)

森林づくり推進支援金の執行状況 (鈴木主査より説明)

「浅見座長」

お手元にある「会議次第」に沿って進めたいと思います。アの説明とイの3項目を一括して説明いただき。皆様にご意見いただきたいと思っておりますよろしくお願いたします。

「大里主任」

ア、小谷村の森林整備について、資料 1 により説明

「浅見座長」

続きまして、イの森林税活用事業について説明を受けます。3項目ありますがそれぞれ資料がありますので、資料 2、資料 3、資料 4を参照しながら説明を受けます。よろしくお願いたします。

「三善普及林産係長」

間伐事業の進捗状況について、資料 2 により説明

「浅見座長」

引き続きまして、の里山集約化・支援金の執行状況について事務局の説明をお願いします。

「鈴木主査」

里山集約化・支援金の執行状況について、資料 3 により説明

「浅見座長」

引き続きまして、の森林づくり推進支援金の執行状況について事務局の説明をお願いします。

「三善普及林産係長」

森林づくり推進支援金の執行状況について、資料 4 により説明

4) 意見交換

「浅見座長」

皆さんからご意見をお願いします。現場視察も含めまして、ご意見や感想でも結構ですのでよろしくをお願いします。

「山内委員」

チップロードの費用は総額どのくらいか。概算でもいいので教えてください。

「事務局」

チップの機械は県から無償貸出しします。燃料は1日200リットル使用しますので、軽油70円として「 $70 \times 200 \times 30 = 42$ 万円/1カ月」と機械輸送費は往復で20万円です。オペレーターは会社での雇用となりますので不明ですので、概算ですが、機械費用に関しては1か月で62万円以上係ると思います。

「浅見座長」

よろしいですか。他にございますか。

「香山委員」

： 各地で森林税を活用し主に間伐を実施していると思います。間伐は将来の山づくりに主目的を置いて整備することが重要であるので、事業の消化(面積、金額)に重点を置くのではなく、“地域の林業”“地域の山”を将来的にどう整備していくのかに重点を置いていくことが重要だと思えます。

「事務局」

本日見ていただいた、里山整備団地もそうですが、森林整備を有効的に実施する作業道の目的にプラスして、森林空間を利用しながら山を整備していくという目的も併せて実施しています。現場ごとに森林整備の目的も変わってくるので、将来を見据える形での森林整備推進は難しい課題ですが、地域の実情に沿った森林施業を進めていけるよう普及していきたいと考えております。

「山内委員」

現場で、チップにするための木が山積されていたが、チップ以外の利用方法が何かないのか。地域住民等へ情報提供し、薪や材として有効活用できる仕組みを作れないか。

「事務局」

全ての森林整備の現場にチップロードを設置するという事は考えておりません。材が高く売れるのであれば、木材として出して行きます。材価が上がらない場所であれば、薪材として地域の方に提供もできるだろうし、その辺は柔軟に対応していきたいと考えております。

「浅見座長」

木材産業につながる森林整備を進めていくことが重要である。大北地区は広葉樹が多いので、搬出条件や高木性の有用広葉樹を残すとか、特殊な材であるキハダを残すとか、ゾーニングをして行くことが重要です。そのような細かい積み重ねが将来の木材産業につながると思うので考えてください。

「事務局」

ゾーニングを上手く出来ることが理想ですが、現実的にそこまで議論が進まない。
委員の皆さんで何か、いい方法がありますか。

「香山委員」

これは森林税以前の問題で、針葉樹が植栽されている場所であったり、広葉樹の山であったり、既にゾーニング的なことはされていると思います。それが現在のニーズに沿った形で機能しているかは別ですが、まず森林整備をする団地が決まれば、過去のデータを見てどういう森林づくりを進めていくかを検討する。ただ 30%伐りますとか、野生鳥獣対策のために緩衝帯整備をやりますだけではなく、過去のデータを見て、将来的にどんな森林にしていくかを所有者の方に提案していくことが重要ですので、頑張りたいと思います。

「事務局」

現場では、そのような議論を行い森林整備をしています。補助金の施策上 30%の間伐率が示されているだけであり、実際現場では、将来的に材価が上がるものは残す。そのために現在どんな整備をすべきかを考えて間伐しております。

森林所有者のための間伐が木材産業につながることを理想と考えております。それに向け行政と業者が連携し検討を行っているところです。

また、木材利用についてもネットワークづくりを進めておりますので、森林整備だけではなく、利用する側のネットワークをつくりながら進んでいます。

車で言えば、両方の車輪が回り始めた段階です。現状は、将来に向けての準備段階を進めている所とご理解ください。

「浅見座長」

他に何かございますか。

「事務局」

小谷村役場から森林整備の実施方法の経過を説明させていただきたいと思いますのでお願いいたします。

「小谷村役場 相澤主事説明」

小谷村の里山整備の冊子により説明

- ・どこの森林を整備し、団地化するかは地域の人が設定している。
- ・団地化した場所の森林所有者の確定は地域の人をお願いしている。
- ・地権者への交渉も地域の人が実施している。
- ・今までの経過を見て取りまとめは、上手くいっている。
- ・協議会を設立し、小谷村として森林整備の内容や施業の方針について決定し、地域の方に賛同していただき、里山整備について小谷村全体として取り組む体制が整いました。

「川上委員」

村が主体になってくれるとありがたい。

「事務局」

長野県の中でも市町村単位で協議会活動(集約化、団地化)を実施しているのは、小谷村しかない。

「浅見座長」

他にご意見がないようなので、本日は小谷村のご協力により、現地検討及びこの会議室での室内検討を行う事が出来ました。ありがとうございました。

委員の皆様のご協力で無事、進めることができましたことを感謝します。

「鷹野課長補佐」

浅見座長、円滑な議事進行ありがとうございました。それでは、以上をもちまして「みんなで支える森林づくり大北地域会議」を閉会します。

本日は、ありがとうございました。